

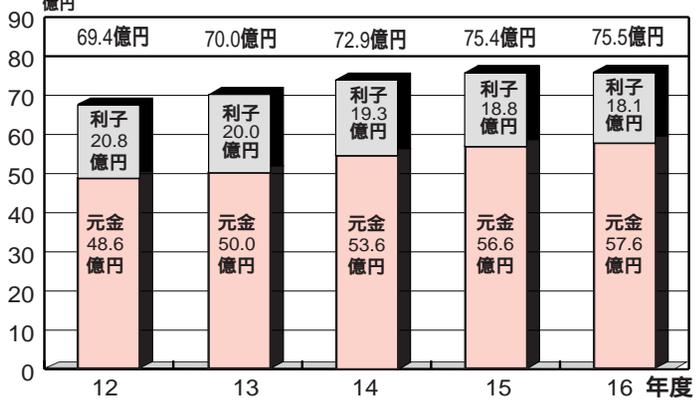
## 企業債の状況

企業債は、家庭でいう借金に当たります。

市は、皆さんに水道水を安定的にお届けするため、管路の整備や耐震化などの建設投資を計画的に行っています。この投資には多額の資金を必要とするため、その財源として企業債を借り入れしています。

平成16年度は、2億6千200万円の企業債を借り入れし、今までに借り入れた企業債のうち元金と利子の合計で約3億3千100万円を返済しました〔グラフ1〕。

企業債残高の推移【グラフ1】

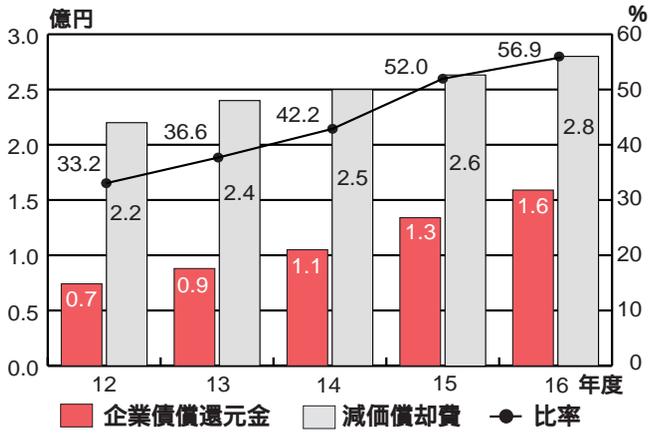


## 減価償却費と企業債償還元金のバランス

企業債償還元金が、減価償却費よりも多くなると、償還する資金の調達ができなくなるといわれています。このバランスにより財政の安定度を見ることができます。

当市の場合、この比率が増加傾向にあります。現在は企業債発行を抑え、安定した経営を行えるように努めています〔グラフ2〕。

企業債償還元金対減価償却費比率の推移【グラフ2】



## 給水量と給水戸数の状況

炊事や洗濯、入浴などわたしたち

平成17年度予算執行状況【表2】

1. 収益的収支

収 入			支 出		
科 目	予 算 額	収入済額 執行率%	科 目	予 算 額	支出済額 執行率%
水道料金	9億円	4億3,900万円 48.8%	受水費	1億8,000万円	7,500万円 41.7%
受託工事収益	3,400万円	1,200万円 35.3%	人件費	1億1,800万円	5,500万円 46.6%
その他営業収益	2,800万円	900万円 32.1%	支払利息	1億7,400万円	8,500万円 48.9%
			減価償却費	2億7,600万円	0円 0.0%
			資産減耗費	2,300万円	0円 0.0%
			その他経費	1億6,900万円	4,500万円 26.6%
計	9億6,200万円	4億6,000万円 47.8%	計	9億4,000万円	2億6,000万円 27.5%

2. 資本的収支

収 入			支 出		
科 目	予 算 額	収入済額 執行率%	科 目	予 算 額	支出済額 執行率%
企業債	1億5,000万円	0円 0.0%	工事費	2億4,800万円	2,800万円 11.3%
工事負担金	400万円	80万円 20.0%	企業債償還金	1億8,100万円	8,900万円 49.2%
			人件費	3,300万円	1,600万円 48.5%
			量水器購入費	5,200万円	4,200万円 80.8%
			修繕費	900万円	500万円 55.6%
			委託料	1,700万円	0円 0.0%
			その他経費	1,900万円	800万円 42.1%
計	1億5,400万円	80万円 0.5%	計	5億5,900万円	1億8,800万円 33.6%

の生活に欠かせない水は、どのくらい使われているのでしょうか。

平成16年度末の市内の人口5万4千10人に対し、給水人口が5万2千951人で約98%（水道普及率）の方が水道を使用しました。

給水戸数は、家事用、家事用以外、公衆浴場用、臨時用の4つの用途に分類し、家事用では、給水戸数が2

万戸を超え、約350万立方メートルの水を供給しました。

家事用以外では、給水戸数に変化はありませんが、給水量が平成12年度と比べ、大きく減少しています。これは、長引く景気の低迷が影響していると考えられます。

臨時用は、道路などの工事に使用されたものです。